

## 着物と私(5)

### 「着物に出会って」

佐藤 花奈子



「あなたは着物の着付けが自分でできますか？」  
 そう聞かれたら、たいていの人は「いいえ」と答えるでしょう。少し前の私もその質問を聞かれたら同じことを言っていました。しかし、今では「着付けができる」と言えるようになりました。

私が着物を着られるようになったのは、料亭でアルバイトをし始めてからです。なぜなら、そのお店の制服は着物だからです。上下が別れていて簡単なものではなく、正式な着物です。着物を着て働いていると人に言うと「大変だね」とか「面倒くさくない?」とか色々言われたりしますが、自分自身ではまったくそうは思いません。

それは、ずっと料亭で着物を着て働くのが憧れだったからです。小さいころから着物を着るのが好きでお祭りや初詣に行くときは母にねだって浴衣や着物を着せてもらっていました。着付けを習いに行くのはちょっと・・・と思って、料亭なら作法も学べるしと思いつつ着物が制服のところをアルバイト先に探していたら今のところが見つかりました。

そこでは、一回教えてもらったなら二回目からは1人で着るようになって、着物を着るのは好きだけど、1人で着付けをしたことがないし、浴衣すら自分で着たことがなかったので、とても焦りました。そこで、学校の図書館に行って着付けの本を借りて家で猛勉強しました。最初は全然読んでも分からず、浴衣で練習してみても上手くできなかったです。でも、アルバイトに行く最初の日までの約2週間ずっと本を読み続けていました。そして、いざ、初出勤の日！勉強が功を奏したのか、着付けを教えてくれた方が「初めて着たにし



てはとっても上手よ」と言ってくれるほどそつなく着られるようになっていました。

あれから半年以上経ち、ときどき着方を直されたりしますが、1時間以上かかっていたのが、最近では20分で着られるようになりました。今年の夏には、友達3人と浴衣を着て祇園祭に行きました。全員の着付けを私がして♪。

皆さんの中にも自分で着付けができるようになりたいと思う方がいらっしゃると思います。本を読むだけでも着られるようになります。図書館のビジュアル本コーナーにはたくさんの着付けの本があるので興味がある方はぜひ見に行ってみてはいかがでしょうか。

さとう かなこ (英米語学科3年次生)